

目 次

馬事往来

- JRA ブリーズアップセール, 12年を経て…………… 富田 篤志 …… 1
オーストラリアにおける野生馬保護活動…………… 岩田 光太 …… 10

馬事資料

- 馬子宮内膜の加齢性疾患に関する研究の紹介…………… 花田 道子 …… 14

特別記事

- 日本ウマ科学会 2016年臨床委員会招待講演および講習会について …… 酒井 哲志ほか …… 19
海外学術集会参加報告…………… 西山 慶太 …… 26
日本ウマ科学会第29回学術集会 優秀発表賞受賞者紹介…………… 32
Journal of Equine Science Vol. 28 No. 1, March 2017 和文要約…………… 33
学会記事…………… 35
お知らせ…………… 47
協賛団体名・賛助会員名簿…………… 48
Hippophile 投稿に関する基準…………… 49
編集後記

Hippophile No. 68

- 編集委員 -

| | | |
|----------|----------------------|---------------------|
| 編集担当常任理事 | 田谷 一善 (東京農工大学) | |
| 編集委員長 | 楠瀬 良 (日本装蹄協会) | |
| 編集委員 | 相川 貴志 (地方競馬全国協会) | 永井富美子 (エディター) |
| | 石田 信繁 (JRA 競走馬総合研究所) | 沼田 恭子 (NPO 法人引退馬協会) |
| | 近藤 誠司 (北海道大学) | 三浦 暁子 (エッセイスト) |
| | 末崎 真澄 (馬の博物館) | 守谷 久 (道新観光) |
| | 杉本 篤信 (地方競馬全国協会) | 山口 洋史 (全国乗馬倶楽部振興協会) |
| | 関 正喜 (ジャーナリスト) | 山野 浩一 (作家) |

表紙絵：騎手 (The Jockey): アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック (1864-1901) 1899年 49.8×34.1 センチ多色刷り
リトグラフ 馬の博物館蔵

「騎手」は、晩年に近い療養中に一連のサーカスシリーズとともに表した作品である。ロートレックは、少年の頃に父親とともに乗馬をし、競馬場にもしばしば通った経験があり、晩年に再びその情景を思い巡らしている。後ろ姿の騎手は、あるいは馬と競馬を愛した父と自分の姿を映し出しているのかもしれない。